

余市の人々。 第8回 【江部拓弥】

戦略推進マネージャーの連載を広報誌で掲載しています！

昭和がひとつの区切りなのかな。塩田さんはぼつり。誰かに言ったわけでもない。言葉が僕の頭の上をすーっと通り過ぎていく。昭和も平成も終わって、令和なんですよ。僕は誰もが知っていること口にする。「うちが辞めたら、余市に町の本屋がなくなっちゃうかもなあ」

さっきまでの陽気な塩田さんが、なんだかしゅんとしてしまったようにも見える。どこかセンチメンタル。「やっぱり頑張らないといけないな」

塩田さんが決意表明のようにつぶやく。町に本屋は必要ですよ。無責任な物言いだけれど、僕は本当にそう思っている。

「私の目の黒いうちは、余市を本屋のない町にはしたくないね」

気の利いた言葉を返さないといけないと思いながら、何も言えない自分がもどかしい。さっき言えなかつ

た生業という言葉思い出して、生業です、なんて言う。塩田さんが、そう、生業ですから、と返す。

しばしの沈黙の後、そう言えばコロナはどうなんですかね、という感じで塩田屋の話がフェードアウトしていく。良くも悪くもコロナは2020年の夏の最大の関心事だ。

濃密な塩田さんとの時間も終わりが近づいていた。帰り際、立ち上がった塩田さんは、世間話の最後にこんなことを言った。

「余市はまだまだいけるはずだよ。まだまだいけますよ」

僕もつられて、塩田屋もまだまだいけますよ、と調子のいいことを言う。「いけるいける」。そう言った塩田さんは、はっはっはと軽快に笑って、顔のあたりで拳を握った。

(終)


※「余市の人々。」は、余市町戦略推進マネージャーの江部拓弥（えべたくや）さんが、余市町に関わりのある人物へのインタビューをもとに執筆し、「WEB本の雑誌。」(<https://www.webdoku.jp/column/ebe/>)に掲載されているものを、転載しております。※掲載日 2020. 8. 31

問合せ 企画政策課 企画グループ ☎21-2117

余市町LINE公式アカウントに登録すると本当に便利！

ソーシャルネットワーキングサービス「LINE」の余市町公式アカウントより、緊急情報や防災情報などを発信しています。

登録方法

- 1 【ホーム画面】→【右上の友だち追加】 をタップします。
- 2 【QRコード】をタップします。
- 3 【QRコードリーダー】が自動で起動しますので、右の【QRコード】を画面の四角表示の中に写るように合わせます。
- 4 【QRコード】を読み込むと、画面に友だちが表示されますので、【追加】をタップすると登録完了です。

※QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。



▲登録はコチラ

投稿実績

過去に次のようなメッセージが投稿されました。

- ・新型コロナワクチンの予約受付
 - ・不審者出没情報
 - ・ヒグマ情報
- など

現在約3,500の方が登録しております。
未登録の方は是非、登録ください！

問合せ 地域協働推進課 広報広聴グループ
☎21-2142